

中部地区路面電車サミット&カーフリーデーふくい 20220917~18



*サミット・CFD特集号です。皆さまお疲れさまでした！
ご参加いただいた皆様ありがとうございました！



☆☆活動報告☆☆

- 9月 17日 中部地区路面電車サミット福井大会
- 9月 17日 記念講演会
- 9月 18日 カーフリーデーふくい 2022
- 10月 13日 第5回CFD実行委員会
ROBA10月例会、理事会

☆☆事業の予告☆☆

- 11月 10日 (木) 19:00~21:00
ROBA11月例会・理事会

Wacky's ー押しCD その45

ミッシェル・カミロ「ミッシェル・カミロ」

今回は、同じ南米でもブラジルでなく、ドミニカ出身のジャズピアニスト、ミッシェル・カミロです。ミッシェルは、まさしく、ジャズとラテンをつなぐ達人で、その溢れるリズム感、他の追随を許しません。このアルバムは、彼のトリオのメジャー・デビュー作ですが、すでに、名人の風格も漂わせています。超絶技巧の二人、ドラマーのデイヴ・ウェックルとベーシストのマーク・ジョンソンとのたった三人とは思えない、繰り出す凄まじいラテンリズムに興奮してください。

お薦めの曲は、冒頭の「スイート・サンドリン」ですが、以前ご紹介した、ブラジルのピアノ弾き語り名人のタニア・マリアに捧げた「プラ・ヴォセ」も聞かせます。流石、ブラジルのリズム・クイーンにも敬意を払っているのが、いいですね。これを聞いて、楽しくリズム感を養いましょう。

第 20 回 中部地区路面電車サミット 2022 福井大会報告

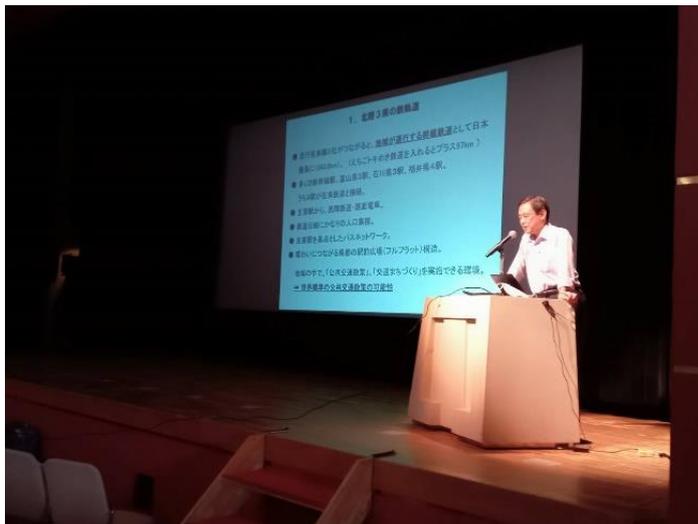
9 月 17 日 (土) に第 20 回中部地区路面電車サミット 2022 福井大会を開催いたしました。同時開催の記念講演会でも ROBA 設立 20 周年も報告させていただきましたが、20 回と 20 周年で W20 になりました。講演会終了後同じ会場で開催いたしました。

参加団体は 11 団体ですが、うち 2 団体は関西を基盤に活動する団体になります。参加者は 40 名相当となりました。団体ごとに活動状況と課題について報告がありました。そのなかで、地域課題もさることながら団体の高齢化、組織の弱体化が課題として多く報告されていました。

最後に次回開催予定の RACDA 高岡小神会長から報告がありました。

参考＜ 中部地区路面電車サミット開催状況＞

第 1 回	2002	豊橋市	第 2 回	2003	高岡市
第 3 回	2004	岐阜市	第 4 回	2005	福井市
第 5 回	2006	豊橋市	第 6 回	2007	高岡市
第 7 回	2008	関 市	第 8 回	2009	富山市
第 9 回	2010	豊橋市	第 10 回	2011	桑名市
第 11 回	2012	静岡市清水区	第 12 回	2013	福井市
第 13 回	2014	高岡市	第 14 回	2015	豊橋市
第 15 回	2016	福井市	第 16 回	2017	高岡市
第 17 回	2018	金沢市	第 18 回	2020	高岡市
第 19 回	2021	豊橋市	第 20 回	2022	福井市



中川先生の記念講演

会議終了後、福井鉄道田原町駅 17 時 24 分発で次の懇親会会場 (AOSSA 3F) へと移動いたしました。

懇親会では、講師の中川先生を囲んでサミット会議で十分議論できなかったことをさらに深堀をしていました。なお、一行は 2 次会へと歩を進め、お陰様で密度の濃い一日を過ごすことができました。

中川先生ありがとうございました。そして参加者の皆さんありがとうございました。



講演会終了後
ROBA20年のあゆみ報告
発表は林理事



中部地区路面電車サミット
全体会議（フェニックスプラザ小ホールにて）
進行は内田です。



中部地区路面電車サミット
懇親会にて
ROBAメンバー勢ぞろいであいさつ
清水理事司会で進行

第20回カーフリーデーふくい2022 報告

令和4年9月18日第20回カーフリーデーふくいを開催いたしました。本年も田原町駅界隈、田原町ミューズをメイン会場で行いました。ほぼ昨年同様のコンテンツですが、福井市の図書館改修に伴い会場に出前図書館が出店しました。また、前日講演会&中部地区路面電車サミットを開催した関係上、サミット参加者のエクスカーションとCFDのちよい旅を合同実施としました。

当日は台風の懸念はありましたが、その影響はほとんどなく大変暑い日となりました。昨年の反省で準備の開始を早めたこともあり、10時には体制が整いスタートが切れました。私はCFD本部に詰めていました。昨年より来場者は少なく感じましたが、来場者のアンケートによると、徒歩や公共交通での来場も多く、CFDを目的に来場される方も増えてきたように思います。



会場の全体風景

やはり、「継続は力なり」ですね。

田原町ミューズで行われる音楽ステージも定着が見られ、常に座席は人で埋められていました。CFD全体の来場者は500名相当でした。

市役所と県庁ホールでのパネル展、桜木図書館での交通交通図書特集も例年通り開催できました。



本部設営の様子



クイズラリー参加者



サイクリング出発前



音楽ステージ

CFD2022 音楽ステージ 報告

第1ステージ

・ロス・アミーゴス (フォルクローレ)



・マッターリーナ (ポップス)



・YoLoS (ポップス)



第2ステージ

・シマーズ (ブルース)



・結人 岩田&杉本 (民謡)



・トリオ・ダ・パイション+ (ラテン)

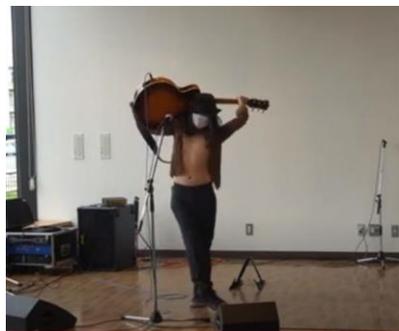


第3ステージ

・North to South (ブルークラス)



・ジローヤマダ (ポップス)



・バニティ・ミニ (ポップス)



県内各地から、ギャラなしで出演されたミュージシャンに感謝。(脇本幹雄)

永平寺自動走行バス（カーフリーデーちよい旅）

2022年9月18日の福井カーフリーデーの際にちよい旅として関西の市民団体 KOALA の視察旅行を兼ねて、永平寺の自動走行バスに体験乗車してきました。「ZEN drive」と名付けられ、永平寺町が「まちづくり株式会社 ZEN コネクト」に運行委託しているレベル3による公道を走る自動走行バスです。なお、一般的に「自動運転」と言われていますが、「運転」というのは車両を操作して走らせるという意味で、「自動」という意味と矛盾する（自動なら操作は不要なので運転ではない）ため、私は「自動走行」という表現を使っています。

「ZEN drive」の運行は荒谷～志比間で、10時～15時まで約20分おきに13往復が土休日のみ運行されています。平日は社会見学等の視察のみの対応となるそうです。志比停留所は永平寺線の終点永平寺駅跡で、京福バスの永平寺バス停から階段を上ったところにあります〔写真1、2〕。運賃は100円（中学生以下50円）で、無人の車両に設置されている料金箱に入れるしくみです〔写真3〕。車両は3台あり、1人のオペレータが遠隔で監視し、車両は路面の溝の電磁誘導線やICタグをカメラやセンサーで検知しながら進みます。前方に障害物を検知すると速度を落とし、接近すると停止します。車内には緊急停止ボタンも設置され、乗客が危険や異常を察知した際にも停止できるようになっています。

当日は私も含めて3人で田原町のカーフリーデー会場から、えちぜん鉄道で永平寺口駅まで行き、そこから京福バスを乗り継いで永平寺バス停に向かいました。ちょうど12時台はオペレータの昼休のためか運行されていないので、こちらバス停の前のそば屋で昼食をとり、全員永平寺には行ったことがあるので、お寺には入らず参道の様子だけ見に行きました。門前までの駐車場には多くの車が停まっており、連休のにぎわいが戻ってきていました。京福バスは15人ほどの乗車でしたが、福井駅に直行する永平寺ライナーは40人ほど乗って出発していきました。



写真1：志比（永平寺門前）バス停
旧京福電鉄永平寺駅



写真2：自動走行バス停案内



写真3：料金箱と緊急停止ボタン



写真4：車両 路面の電磁誘導線を検知して無人走行

「ZEN drive」〔写真4〕は6人乗りなので、利用者が並んでいて乗れない場合は次の便まで20分待ちと思っていましたが、昼休明けの13時発の便は我々の他に待っている人もいませんでした。車両の前に立つと危険を知らせるアナウンスが流れるようで、どのくらい前まで感知するか試したところ約10m前方に来るとアナウンスが流れるようでした。時速十数キロほどの運行なので10m進むのに約3秒、その間に減速・停止できるということのようです。



写真5：ハンドルにカバーがかけられた運転席



写真6：案内画面

我々が乗車し、時間になると車内カメラで監視しているようで、オペレータから出発のアナウンスがあり、車両は走りだしました。荒谷までの廃線跡の遊歩道約 1.5km を約 10 分で走ります。運転席のハンドルはカバーで覆われており[写真5]、案内画面[写真6]によると約 10km/h ほどの速度で進みますが、カーブに差し掛かると、前方に柵や木々などを検知するらしく注意の案内放送が入って減速します。行き違い設備では車がすれ違う幅に 2 対の電磁誘導線が分岐しており、オペレータの指示に従ってか、停車のうえ、反対側の車両が行き過ぎると再び発車しました[写真7]。自転車や歩行者が通る公道上を無人のまま走行するといっても、結局は終点の荒谷まで誰とも会わずじまいでした。



写真7：行き違い設備（1台対2台のすれ違い）

終点の荒谷バス停[写真8]に着いた後、発車時間を過ぎても車両は出発しなかったため、お客さんが乗らない限り無駄に走ることはないようです。冬場は雪や路面凍結のため運休するようなので、体験したい方はそれまでにどうぞ。感想としては高度な技術を使った遊園地の乗り物といった感じで、公共交通の役割を担うにはほど遠い気がします。速度が遅く、輸送力がない、仮に何台か連結させるにしても、その分エネルギーを消費する。運転手が足りないから無人で走行させるといえば聞こえは良いが、結果的に過疎地では働き手を失うだけで、より過疎を促進してしまう。無人の町に無人の車を走らせた地域にしたければ導入していただければと思います。膨大な費用をかけて技術開発と、道路情報の整備、タグなどの設置費用をかけるより、都市部ならレールを引いたほうが早期にエネルギー消費を抑えた無人走行が可能になり、にぎわいを生み出したいのであれば、一度に多くの人を運ぶ公共交通を整備したほうが良いと思います。[松原光也]



写真8：荒谷バス停（旧京福電鉄荒谷駅）

変な踏切? . . .

高岡の善光です。さて出番が回って来ました。鉄道や交通に関する難しく、専門的? . . . な話題を提供します。

皆さん、踏切を通る時、直前で警報機がなったらどんな気持ちになりますか? 「ちえ、くそお〜!」の人、「ラッキー!」の人。前者は鉄分不足の人で、後者は鉄分取りすぎの人? (笑)。子供の時は、両数を数えたり、手を振って運転手さんが手を振り返してくれたり、「ピッ!」と短笛を鳴らしてくれると、喜んでいました。



そんな各地にある踏切には“〇〇踏切”と必ず名前が付いていて付近に表示してあります。事故時や警報機異常時などに場所を特定させるために役立ちます。しかしその名前を見ていると、あれ!? . . . と思う事があります。××会社の無い“××会社踏切”。△△病院の無い“△△病院踏切”。あとは“〇〇街道踏切”や、旧町名で名乗っているものなど、その地域の歴史も感じ取られる事があります。おもしろいのでは“勝負中踏切”。ただ電車と勝負しても、確実に負けると思いますが . . . 。ほかにも??な名前の踏切がたくさんあります。名称の年数が経って違和感が出て変更しないのは“場所の特定”さえできれば名称は“どうでもいい”からだとも言われます。

さて、踏切の名前なんて利用者側からも“どうでもいい”事ではありませんが、みなさんが普段通っている踏切、ちょっと名前を確認してみると、思いがけない発見があるかも知れませんよ!

写真は、付近に油会社の無い“油会社踏切”。

怪速! by.うろし哲
路面ライダー



作/漆崎 耕次

編集後記 . . . 編集委員より一言

内田 (発行責任者)

「自宅が築後 20 年を経過したので、水回りその他リフォームを行いました。その間 2 か月、トイレや風呂の制限で不便な日々でした。ROBA も 20 周年でリフォームが必要か! ROBANEWS は今月号で 249 号。大変な数字です。」

林(変集長)

「10月1日から『もりたんバス』の本格運行が始まりました。期限は3年間。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>